

第121回 神戸甲状腺研究会プログラムのお知らせ

第121回神戸甲状腺研究会当番世話人
兵庫県立はりま姫路総合医療センター 飯田 啓二
医療法人社団心愛会 馬場 久光

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第121回神戸甲状腺研究会のプログラムが下記のとおり決定しましたのでご案内申し上げます。

今回も現地参加のみの開催を予定しております。

感染防止に細心の注意を払い開催いたしますので多数ご参集頂きますようご案内申し上げます。

記

日 時：2025年9月27日（土） 15:30～19:00

場 所：医療法人 神甲会 隈病院 多目的ホール（Miyouchi hall）

住 所：兵庫県神戸市中央区下山手通8-2-35

電 話：078-371-3721

*当該研究会は日本内分泌学会の内分泌代謝科専門医更新単位付与集会（2単位）ならびに日本内分泌外科学会の業績単位付与集会（2単位）として認定されています。

*今回もWebでのご参加登録は予定しておりません。

*研究会開催に関わる詳細につきましては研究会のウェブサイトへ掲載しますので、ご確認ください。

神戸甲状腺研究会のURL：<http://kobethyroid.com/index.html>

尚、当日は会場整理費として500円を徴収させていただきます。

会次第：

15:30～16:30 一般演題Ⅰ（各15分～20分）

司会進行

飯田 啓二（兵庫県立はりま姫路総合医療センター）

- ① バセドウ病治療中断後に甲状腺クリーゼを発症し、集学的治療により救命し得た1例
神戸市立西神戸医療センター 糖尿病・内分泌内科
内山 葵、阪上 慎治郎、許林 櫻華、藤原 雄太、孫 徹
- ② G-CSF 製剤を投与後に Sweet 症候群が疑われたバセドウ病の1例
神戸市立医療センター中央市民病院 糖尿病・内分泌内科¹⁾、病理診断科²⁾
村部 公亮¹⁾、藤本 寛太¹⁾、須川 健¹⁾、葉山 僚哉¹⁾、岩倉 敏夫¹⁾、松岡 直樹¹⁾、
山下 大祐²⁾、籬谷雄二¹⁾
- ③ Teprotumumab 投与後に高血糖を呈し、インスリン導入を要した甲状腺眼症の1例
神戸市立医療センター中央市民病院 糖尿病・内分泌内科
須川 健、籬谷 雄二、葉山 僚哉、村部 公亮、藤本 寛太、岩倉 敏夫、松岡 直樹

16:30～16:35 休憩

16:35～17:55 一般演題Ⅱ（各15分～20分）

司会進行

馬場 久光（医療法人社団心愛会）

- ④ 40年に渡るポピドンヨードによる習慣的なうがいにより顕性甲状腺機能低下症を発症した1例
隈病院 内科
深田 修司、久門 真子、宮村 慧太郎、古村 芳樹、高橋 佐和子、今村 千佐子、柵木 健吾、
山岡 博之、出口 ハンナ、藤林 克弥、門野 至、高坂 和芳、西原 永潤、伊藤 充、西川 光重、
赤水 尚史
- ⑤ 緊急入院後診断まで時間を要した粘液水腫性昏睡の1例
兵庫県立はりま姫路総合医療センター 糖尿病・内分泌内科
笠松 大瑠、志智 大城、大西 佑弥、渡邊 美季、竹内 健人、駒田 久子、橋本 尚子、
飯田 啓二
- ⑥ 上縦隔孤立性リンパ節転移を契機に診断されたオカルト甲状腺微小乳頭癌の1例
隈病院 頭頸部外科¹⁾、外科²⁾、内科³⁾
松永 啓秀¹⁾、足立 詩織¹⁾、川野 汐織²⁾、山本 雅司¹⁾、佐々木 崇博¹⁾、藤島 成²⁾、
舛岡 裕雄²⁾、東山 卓也²⁾、木原 実²⁾、伊藤 康弘²⁾、小野田 尚佳²⁾、宮章 博²⁾、
宮内 昭²⁾、赤水 尚史³⁾
- ⑦ 褐色細胞腫の術後、カルシトニンが高値で甲状腺全摘術を行った1例
兵庫県立尼崎総合医療センター 糖尿病・内分泌内科
下田平 眞生子、江籠 裕起、瀬野 梓、幸田 真実、井植 浩祐、瀬川 ひとみ、雨宮 健太、
田辺 悦子、大久保 万理江、中村 嘉夫

17:55～18:00 休憩

18:00～19:00 特別講演（60分）

「PD-1・CTLA-4阻害と甲状腺機能障害：前向きコホート研究が明らかにした病態と予後」

講師：名古屋大学医学部附属病院糖尿病・内分泌内科講師 岩間信太郎 先生

座長：赤水尚史（医療法人神甲会隈病院）

19:00 閉会

共催 神戸甲状腺研究会 / アボットジャパン合同会社